

本耶馬溪

スローガン

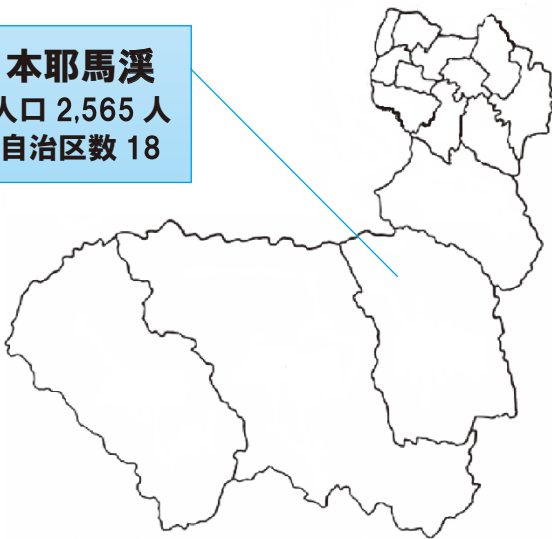
来^きちよくれ、帰^きちよくれ、
おおらかな ふるさと 本耶馬溪

実践目標①誰もが参加しやすい、魅力ある地域行事をつくろう！

実践目標②ふれ愛ネットワーク等による、見守り体制強化しよう！

実践目標③気軽に声をかけ合える関係づくりをしよう！

本耶馬溪
人口 2,565 人
自治区数 18



本耶馬溪地区では、一年を通じて観光客が訪れる青の洞門や羅漢寺などがある自然豊かな観光地です。

平成6年に始まった「ふれ愛ネットワーク」の活動は、隣近所での見守り、交流会等の開催などを行っており、住民同士のつながりづくりの基本となっています。

また新たに、いきいきサロンや週一体操、住民型有償サービス「本耶馬溪ひまわりサービス」の発足など、高齢者やボランティアの交流や、地域の支え合い活動が広がっています。

	2011 (H23) 年	2016 (H28) 年	2021 (R3) 年
人口	3,329	2,941	2,565
世帯数	1,380	1,358	1,287
高齢化率	37.0%	42.9%	49.0%
一人暮らし高齢者	297	366	392
高齢者のみの世帯		899	892
0~18歳人口	433	326	265

※各年ともに9月30日時点のもの(中津市の統計データより)

実践目標と理由・効果

実践目標①

誰もが参加しやすい、魅力ある地域行事をつくろう！

高齢化や人口の減少などにより「地域行事が減った」「子供との関りが少なくなった」「後継者がいない」などの問題があり、地域行事の在り方を見直そうという意見が多く出ました。地域行事や交流の場などへの参加の機会が少なくなったことで、閉じこもりがちになり心と身体の活力の低下が心配されます。行事の規模の見直しや、内容の工夫を行い、子ども達や子育て世代の参加が増えることで、地域行事の継続につながります。また日頃からのあいさつや声かけによるコミュニケーションを図ることで、地域行事への参加にもつながります。

実践目標②

ふれ愛ネットワーク等による、見守り体制強化しよう！

「地域のつながりづくりが必要」「困りごとを言える関係づくりが必要」「孤独死をなくす」などの意見が多く出ました。

ふれ愛ネットワークやスクールガード等の見守り活動は行われていますが、見守り体制強化をしていくためには、活動をより多くの人に知ってもらい関心を持ってもらうことが大切です。また、顔を合わせる機会を増やし、地域行事等の工夫を行いながら、地域のつながりをつないでいくことで、地域の情報共有にもつながります。日頃から気にかけて、気かけられる輪を広げていくことにより、見守りがつなく地域のきずなを育てていきたいです。

実践目標③

気軽に声をかけ合える関係づくりをしよう！

「なんでも言える関係づくりが大切」「変化に気づくことが大切」など、お互いが気兼ねなく困ったが言える関係づくりには、日頃からのあいさつと声かけが大切との意見が多く出ました。

本耶馬溪地区では核家族化や少子高齢化が進み、地域でのふれあいの機会が失われつつあります。交流の機会が減りつつある中でも、日頃から声をかけあうことで地域の住民同士のつながりができ、お互いの信頼関係につながります。声かけによりいざという時に支え合える関係づくりをしていきたいです。

他にも出ましたこんな課題！！

世代間交流の機会をつくる

認知症にやさしい地域づくり

寄り合いの場づくり (場所づくり)

若い世代のつながりの場づくり

有償サービスの情報発信

サロンの送迎

【本耶馬溪】

活動内容	進 捗				
	R4	R5	R6	R7	R8
誰でも参加しやすい楽しめる内容を盛り込む					
集いの場に興味を持ってもらい、出てきやすい環境を整える					
地域行事への参加の声かけをする					
家に籠っている人に出てきてもらうよう声かけをする					
若い世代も参加しやすい地域行事等の工夫を行う					
指導者（後継者）の育成					
行きたいところに行ける取り組みを行う（送迎をする）					
回覧板等の手渡しを行い、訪問時にお互いに気かけ合う					
ふれ愛ネットワークや地域の様々な見守り活動等の情報を発信する					
地域行事等を活用し、互いの様子を確認し、地域の情報共有をする					
ふれ愛ネットワークの見守り活動をさらに充実させる					
地区の寄り合い「たのもし」のような事をする（月1回集まる）					
声をかけやすい関係づくり（あいさつ・声かけをする）					
日頃からの近所付き合いを大切にする					
遠方の家族とも相談できる付き合いをしていく					
あいさつ運動の普及啓発（地域であいさつ運動などの取り組みを行う）					
草の根活動、一人ひとり訪ねて関係づくりをする					

有償サービスの活用

気軽な声かけ

地区内での広報活動

地区の危険場所の確認

いろいろな世代の
人がつながれる地
域づくりが必要



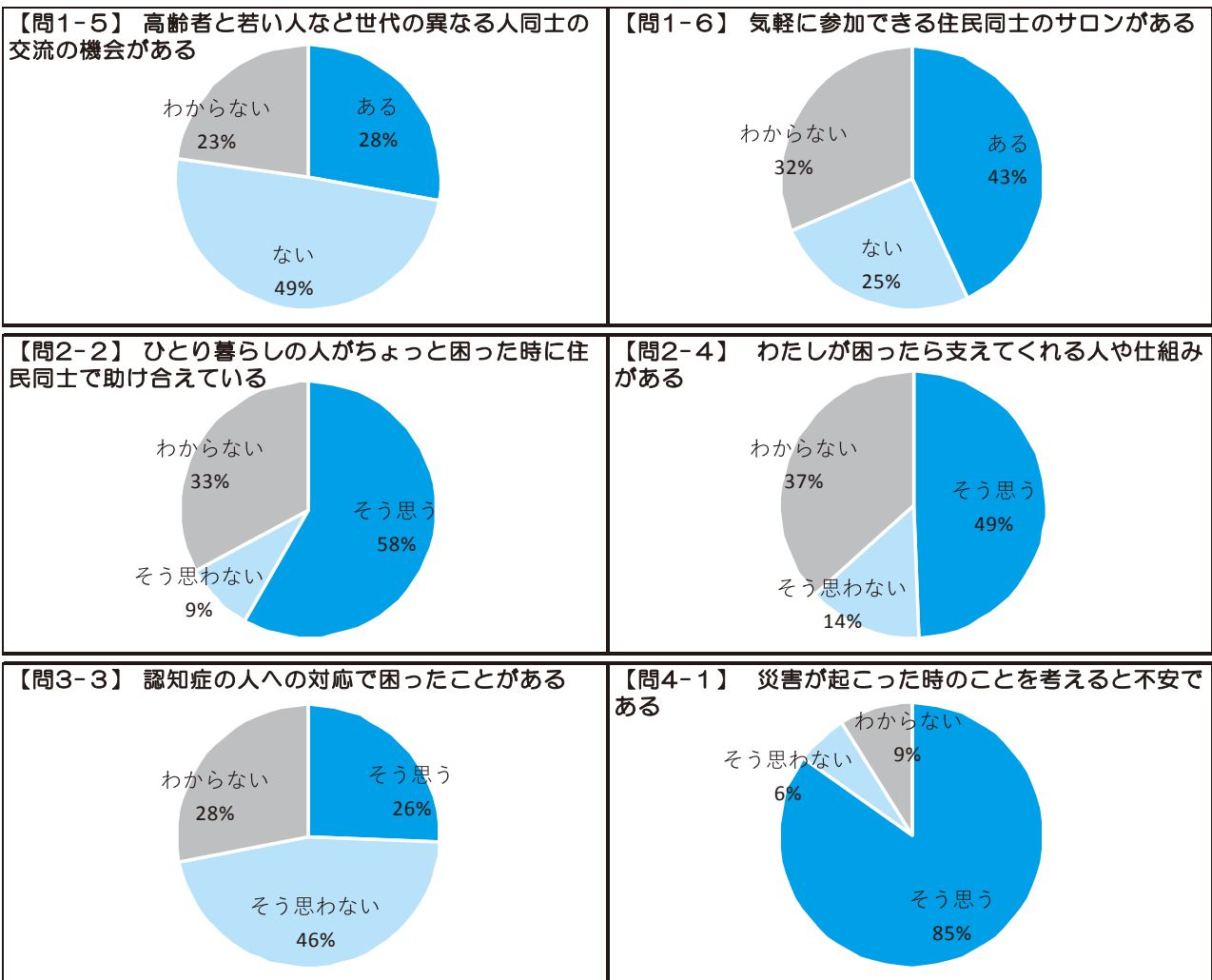
移住者へ地域活動の
情報発信をしよう

第4次の実践目標はこうして決まりました

本耶馬溪地区の「地域のつながりアンケート」結果

回答者数	79人（男性26人/女性52人/無回答1人）
回答者年代	中学生・高校生：8人、20代：1人、30代：4人、40代：9人、50代：14人、60～64歳：12人、65～74歳：24人、75歳以上：6人

内容抜粋 無回答分は除いています



アンケート結果から作業部会で出た意見(課題)

- ・子育て世代の移住促進
- ・一人暮らしの人もお互いに気を遣わない地域づくり
- ・家に籠っている人に出てきてもらうよう声かけをする
- ・若い人や移住者に地域活動への声かけをし、新たな人財を増やす
- ・ボランティア活動の内容周知、相談窓口の広報をする
- ・認知症を受け入れる、お互い意識しない・させない地域づくり
- ・今後、できなくなったことを気軽にお問い合わせできるサービスをつくる
- ・ひきこもりをはじめ、誰もが気軽に相談できる体制づくり
- ・サロン活動や地域活動の後継者の育成

作業部会で出された、本耶馬溪の良いところ

- ・サロンや週一体操、地区行事や公民館活動等、地域の交流の場に参加する高齢者が多い
- ・スクールガードの活動をしている
- ・独自にお互いちょっとしたことで助け合っている
- ・地域でサロンや各団体の活動がある
- ・気になる家庭にはご近所で気にかけているところが多い
- ・水害の経験があるので、避難指示ができれば近所の方と避難をする体制ができている（一緒に避難するので安心）
- ・コロナで祭り等はできないが、お宮の掃除などは続けており、住民同士が集まるようにしている
- ・ふれ愛ネットワーク活動のおかげで、地域の情報等を知ることができる



様々な意見をもとに作業部会で、整理をし、第4次地域福祉活動計画を作っていました



本耶馬溪の社会資源

(R3 年度現在、登録状況や作業部会の方々の意見を参考に作成しています)

お宝 (住民による住民のための支え合いや参加を進め活動のことです)

住民同士の交流・つながりの場	地域サロン	はちどり庵 (毎週木曜日・はちどり庵)
	広域型いきいきサロン	サロンなでしこ (毎月 15 日・東谷地区公民館)
	いきいきサロン (4)	折元おたのしみ会 (月 1 回・折元集会所) たのしみ会 (第 3 金曜・多志田冠石野集会所) にこにこサロン下曾木 (第 2 日曜・下曾木地区集会所) ひだ悠遊サロン (第 3 金曜・樋田地区公民館)
	週一体操教室 (3)	はちどり庵健康クラブ (毎週木曜・はちどり庵) 東谷健康クラブ (毎週水曜・東谷地区公民館) 六所健康クラブ (毎週水曜・今行・下屋形地区集会所)
	その他	下曾木いこいの家、移動販売の日 (みんなが集まる)
本耶馬溪で活動する地域ボランティア	絵本大好きサークル「どんぐり」、本耶馬溪観光ボランティアガイドの会、羅漢寺フィールド文化倶楽部	
住民型有償サービス	本耶馬溪ひまわりサービス	
見守り活動	ふれ愛ネットワーク	
防災活動	自主防災組織、消防団、中津市防災士協議会本耶馬溪部会	
防犯活動	スクールガード、防犯パトロール隊 (落合)	
その他	かならせ会 (鹿嵐山登山道の草刈など) 民生・児童委員見守り赤飯配布 (独居、高齢者世帯対象)	

関係機関が主催する交流の場・社会貢献活動

名称	主催	対象・内容
オレンジカフェ本耶馬溪	地域包括支援センター社協	認知症の方やその家族等が気軽に参加でき場
オレンジカフェかえで	特別養護老人ホームかえで	入所者との交流、おやつ作りや頭と体の運動ゲームなど

地区内の相談窓口

高齢者の生活全般に関する相談窓口	地域包括支援センター (高齢者相談支援センター) 社協
民生児童委員による心配ごと相談窓口	毎月第 3 水曜 9:00 ~ 12:00 本耶馬溪支所/社協本耶馬溪

その他の相談は、社会福祉協議会または市の総合相談窓口 (P.153 参照) にお問い合わせ下さい